

#### (4) 教育資料件名目録の発行

全国の教育センター並びに教育研究機関からの紀要等の中から、研究論文のうち10ページ以上の論文を分類して、約2,259件の資料件名目録第VII号を刊行し、県下各教育委員会及び公立諸学校に配布し、活用をはかった。

#### (5) その他のサービス

- ① 文献・資料等のコピーサービス 所外依頼 129件
- ② レファレンスサービス 所外依頼 29件
- ③ 教育資料等の貸し出し 所外依頼 198名

## 2 教育資料の刊行

### (1) 教育課程の経営に関する研究（第2年次）

教育課程の経営に関する基本的事項の理論研究と、県下の小学校における教育課程経営の実際とを関連づける方向でまとめた第1年次につづくものである。

本紀要の内容は、教育課程評価票（試案）開発を目指す第3年次研究の礎石として、教育課程評価に関する理論及び実態についての調査研究、並びに評価票作成のための理論を中心にまとめたものである。（研究紀要第50号）

### (2) 教育課程の実施に関する研究

学習指導の改善、充実を図るため、主として教育課程実施上の配慮事項にかかる研究で、教科（家庭・英語・音楽・情報処理）、生徒指導について、調査を基盤にまとめたものである。（研究紀要第52号）

### (3) 学習指導の個別化に関する研究

「個に応ずる研究」をテーマに、中学校の数学科と英語科の授業を取り上げ、個のつまずきや到達度に応じた課題を設定し、分枝型学習によって、「個に応ずる働きかけ」を行い、「個の確かな学習」の成立を目指したものである。

（研究紀要第51号）

### (4) 学習意欲を高める心理的治療への理論的アプローチ（第1年次研究）

本年度は、学習意欲の定義をおさえ、学習意欲を構成する諸因子を特定し、それらをどう評価するか、また、意欲を高めるための動機づけや、心理療法として効果的な方法は何かということを柱としてまとめ、次年度の研究に脈絡をつけるため、学習意欲の実態を調査し、学習意欲に問題をもつ児童生徒の類型を求めたものである。

（研究紀要第53号）

### (5) その他の研究資料

「福島県標準学力診断検査問題（小学校）」の作成、「親と教師の教育相談室」・「気象衛星ひまわりの雲写真と日本付近の天気」・資料1—6「情報処理教育」並びに講座資料として、「材料試験機の使い方」・「試験機器の扱い方」を刊行した。

## 第6節 情報処理教育生徒実習

### 1 電子計算機の実習

センターにおける生徒実習は、文部省の情報処理教育センター設置要項（昭和45年11月）に基づくもので、主として県立高等学校の生徒を対象として、昭和47年度から実施している。

センター利用の方法には、①来所しての利用と、②郵送による利用がある。後者は、本県が広域県なので、遠隔地の学校の利用に対処してとられた方策の一つである。

#### (1) 来所しての利用

教育課程の教科・科目のなかに、情報処理教育をとり入れている学校が、年次計画の一環として、センター利用の生徒実習を行っている。

来所しての利用状況（県内高等専校生徒）

学 科	学校数	実 人 数	延 べ 人 数
商 業 科	7	760 (49.4%)	1,253 (48.5%)
工 業 科	7	735 (47.8%)	1,189 (46.0%)
普 通 科 等	3	42 (2.8%)	142 (5.5%)
計	17	1,537 (100%)	2,584 (100%)

#### (2) 郵送による利用

遠隔地のため、来所できない学校や、電子計算機を設置していない学校の生徒実習のために、郵送による利用を実施している。

本年度の利用は、7校・延べ人数583人であった。

### 2 数値制御工作機械の実習

工業高等学校機械科の生徒が、センターの数値制御装置と工作機械（フライス盤）を利用して行う実習で、本年度は、5校・延べ人数479人であった。